

安佐市民病院跡地の活用コンセプト等及び多目的広場に確保する機能等について

1 安佐市民病院跡地全体の活用に係る視点(安佐市民病院跡地の活用方針(平成29年2月))

病院移転によって、病院周辺地域が衰退するのではないかという地元の不安の払拭はもとより、地域の魅力を一層向上させ、地域が今以上に元気になるように活用を図る必要がある。

活性化効果が地元にとどまらず、安佐北区、さらには周辺の市町にも及び、地域全体の発展に寄与するものとなるようにする必要がある。

2 「安佐市民病院跡地の活用方針」における導入施設・機能と現在の検討状況

【活用方針における導入施設・機能】

【現在の検討状況】

文化・コミュニティ施設

- ☆文化・芸能等に関する公演や市民活動を行うことができる施設
- ☆地域住民の交流・活動拠点となる施設

- 多目的広場を将来的な区民文化センターの建替え候補地として確保
- コミュニティセンターを北館に整備

公園・広場

- ☆子供連れの家族がゆっくり楽しめる施設
- ☆安佐北区全域から親子連れが集まる施設

- 子育て世帯向けの公園・イベント広場として多目的広場を整備

子育て支援施設

- ☆子育て親子の交流や子育てに関する相談・助言
- ☆保護者等が一時的に乳幼児を預けることができる施設

- 公募型の子育て支援施設を北館に整備

産直市場

- ☆地域による主体的な取り組みを行うことができる小規模な「産直市場」

- 常設ではなく多目的広場のイベント広場においてイベントとして実施

医療・福祉系等の学校

- ☆地域の賑わいの創出や経済効果
- ☆若者の定住人口の増加

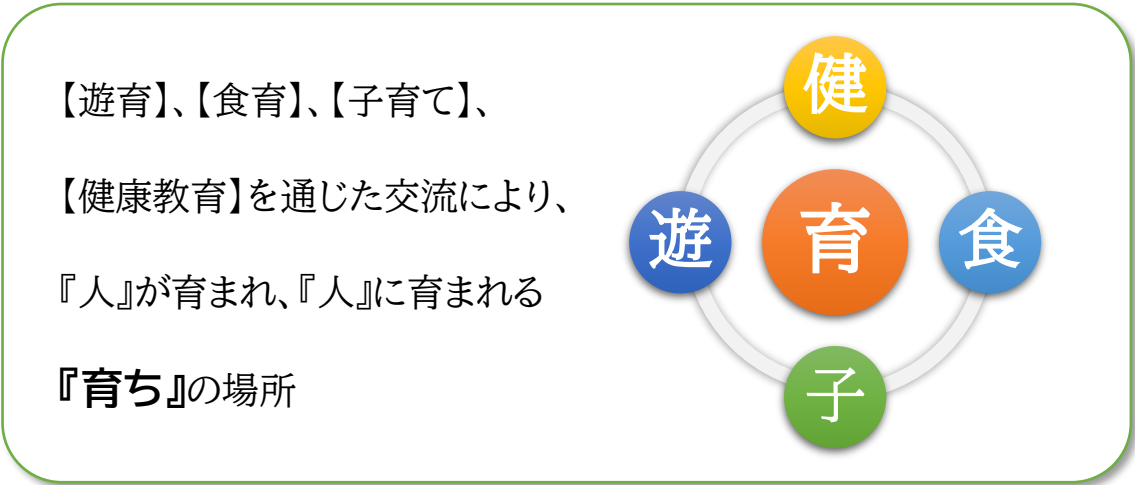
- 学校の代替として、給食センターと認定こども園を整備
- 給食センターや多目的広場に地域のにぎわい創出や若者を呼び込む機能の導入を検討

【上記を踏まえた
病院跡地全体の活用コンセプト】

若者や子育て世代を中心に
広域から多世代が集い憩える交流の場

現在の検討状況を踏まえて
跡地全体の活用コンセプトを具現化
↓ (次ページ)

3 病院跡地全体の活用コンセプトを具現化したイメージ(たたき台)



4 多目的広場に確保する機能等

多目的広場は、病院跡地全体の活用コンセプトの核となるエリアであり、安佐北区全域の子育て世帯向けの機能やイベント広場の機能に加えて、周辺の大学等の若者を呼び込む日常的なにぎわいづくりの場や、周辺施設の利用者等が気軽に憩える場としての機能が求められる。

以上を踏まえ、北館や給食センターに導入予定の機能との役割分担や、エリア内のバランス等を考慮して整備内容を検討する必要がある。

確保する機能(【遊育】、【子育て】)



整備内容(イメージ)

